

分類番号	NS-818	名称	化学物質のリスクアセスメント規定(健康障害防止)	ページ	58/14
改訂日	2007/02/15			改訂番号	Rev. 0

		替化を検討することが望ましい。 ・局所排気装置が設置され十分に管理が行われている場合はリスク格付けをⅡにして良い。
Ⅱ	許容可能なリスク	・追加的管理は不要。コスト効果の優れた解決策、又はコスト増加がない改善について検討しても良い。 ・管理を確実に維持するため、監視が必要。 ・リスクアセスメント実施記録は保管する。
Ⅰ	些細なリスク	・追加的管理は不要。コストをかけなくても実施可能なリスク削減対策は実施する。 ・リスクアセスメント実施記録は保管する。

(9) ステップ9：実施事項の特定及び実施並びにリスクアセスメントの結果の記録

リスクアセスメントで実施した条件、使用した有害性情報、ばく露の推定方法などアセスメントの内容、リスクの判定結果、リスク削減対策として実施した事項及び実施の状況、実施による効果等については、付表-1「化学物質のリスクアセスメント調査・登録・管理計画一覧表」に記録する。

また、RR：リスク格付け評価がⅢ以上のものは、リスク低減対策の処置を管理する。

(10) ステップ10：リスクアセスメントの再実施（見直し）

次のような場合にはリスクアセスメントを再実施する。

- 健康障害を防止するための措置を変更したとき、取扱物質、取扱量、作業工程などの作業内容が変化したとき
- ばく露評価の基準値（許容濃度等の改訂、関係法規制の改訂）などの変化があったとき
- 前回のリスクアセスメントを実施してから一定期間（原則として3年）が経過したとき
- 職業性疾患が発生したとき





























8. 記録の保管

リスクアセスメントの記録は、環境記録として5年間保管する。

9. 制定及び改廃

この規定の制定及び改廃は、OHS事務局で作成し、総括安全衛生管理責任者が承認する。

GHS分類、及びR警句によるハザード格付け一覧表

GHS分類によるハザード格付け	例) シンボル 注意喚起語 GHS分類結果 危険有害性情報					
急性毒性	 危険 区分1 2 全てのばく露経路	 危険 区分3 全てのばく露経路	 警告 区分4 全てのばく露経路	 警告 区分5 全てのばく露経路	区分1-4 皮膚吸収のみ	
皮膚腐食性 刺激性		 危険 区分1A-1C 皮膚腐食性	 警告 区分2 皮膚刺激性	 警告 区分3 皮膚刺激性	区分1A-1B,2,3 皮膚腐食性、皮膚刺激性	
眼に対する重篤な損傷性 眼刺激性		 危険 区分1 眼の損傷	 警告 区分2A 眼刺激性	 警告 区分2B 眼刺激性	区分1 2 眼刺激性	
呼吸器感受性 皮膚感受性	 危険 区分1 呼吸器感受性		 警告 区分1 皮膚感受性		皮膚感受性	
生殖細胞変異原性	 危険 区分1A 生殖細胞変異原性	 危険 区分1B	 警告 区分2	その他の有害性ランクに分類されない固体と液体		
発がん性	 危険 区分1A 発がん性	 危険 区分1B 発がん性	 警告 区分2			
生殖毒性	 危険 区分1A 生殖毒性	 危険 区分1B	 警告 区分2			
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)		 危険 区分1 全てのばく露経路	 警告 区分2 全てのばく露経路	 警告 区分3 全てのばく露経路	区分1 2 皮膚吸収のみ	
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)		 危険 区分1 全てのばく露経路	 警告 区分2 全てのばく露経路		区分1 2 皮膚吸収のみ	
吸引性呼吸器有害性		 危険 区分1	 警告 区分2			
R警句によるハザード格付け	R42 R45 R46 R49 R68	R26/27/28 R39/26/27/28 R40 Carc. Cat.3 R48/23/24/25 R60 R61 R62 R63 R64	R23/24/25 R34 R35 R37 R39/23/24/25 R41 R43 R48/20/21/22	R20/21/22 R33 R40/20/21/22 R67	R36 R38 R65 R66	R21 R24 R27 R34 R35 R36 R38 R39/24 R39/27 R40/21 R41 R43 R66
ハザード格付け	5	4	3	2	1	S

ハザード格付け: 有害性のランク、5>4>3>2>1  
 ランクS: 目と皮膚に有害であり、ランク1~5とは別に評価を行う。(局所排気では防止できないので、保護メガネと手袋の着用を行う)

## ハザード格付け判定表

	化学物質																	
	GHS分類			HR			S			GHS分類			HR			S		
	GHS分類	HR	S	GHS分類	HR	S	GHS分類	HR	S	GHS分類	HR	S	GHS分類	HR	S	GHS分類	HR	S
急性毒性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
皮膚腐食性/刺激性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
眼重篤な損傷性/眼刺激性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
呼吸器感受性/皮膚感受性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
生殖細胞変異原性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
発がん性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
生殖毒性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
吸引性呼吸器有害性	区分外			区分外			区分外			区分外			区分外			区分外		
R警告分類結果																		
判定結果				判定結果			判定結果			判定結果			判定結果			判定結果		

ハザード格付け判定結果： 0

作成: 年 月 日  
 改訂: 年 月 日

承認	作成
----	----

### 2006年度 定期化学物質のリスクアセスメント調査・登録・管理計画一覧表

<部門名> を選択

課

ステップ1 実施担当者	ステップ2 場所 (製造または取 扱)	ステップ2 工程 (実施する単位)	対象物質	ステップ3			ステップ4 対象労働 者数	ステップ5 リスクア セスメント の格付け	ステップ6 リスク 格付け	ステップ7 リスク 格付け	ステップ8 リスク低減対策(Ⅲ以上記入)	対策結果
				取扱量	揮発性(沸点)、 可燃性	取扱量 (大、中、小)						
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
											担当者: 対策案: 予定年月:	ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:



作成: 2007年2月5日  
 改訂: 年 月 日

承認	作成

2006年度 定期 化学物質のリスクアセスメント調査・登録・管理計画一覽表

ニッタ総部門A

製造工程

ステップ1 実施担当者	ステップ2		ステップ3				ステップ4		ステップ5		ステップ6		ステップ7		対策結果
	場所 (製造または取 扱)	工程 (実施する単位)	対象物質	取扱量	揮発性(沸点)、 飛散性	取扱量 (大、中、小)	作業頻度	対象労働 者数	リスクハザード の格付け	リスクア セスメント 結果	リスク 格付け	リスク 格付け	リスク 格付け	リスク 格付け	
	奈良工場 O階現場	樹脂ヘルム製造	硬化剤A	830 kg/年	202~214℃	小	毎日	8	4	IV	III				

### 実施事例 ②

NS-818-3 ハザード格付け判定表 (Ver.0)  
 NS-818-3 ハザード格付け判定表(事例②)

## ハザード格付け判定表

化学物質	有機溶剤A				有機溶剤B				有機溶剤C				有機溶剤D			
	GHS分類	HR	S	判定結果	GHS分類	HR	S	判定結果	GHS分類	HR	S	判定結果	GHS分類	HR	S	判定結果
急性毒性	区分5	1		区分外												
皮膚腐食性／刺激性	区分2	2	S	区分外												
眼重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B	1	S	区分外												
呼吸器感作性／皮膚感作性	区分外			区分外												
生殖細胞変異原性	区分外			区分外												
発がん性	区分外			区分外												
生殖毒性	区分外			区分外												
特定標的臓器／全身毒性(単回曝露)	区分1	4	S	区分外												
特定標的臓器／全身毒性(反復曝露)	区分1	4	S	区分外												
吸引性呼吸器有害性	区分2	3		区分外												
R警告句分類結果				R20/21/22	2	S										
				R60			4									
				R61			4									
判定結果		4	S	判定結果	4	S	判定結果									判定結果

ハザード格付け判定結果： 4 保護メガネと手袋の着用を行う事

作成: 2007年2月6日  
 改訂: 年 月 日

2006年度 定期 化学物質のリスクアセスメント調査・登録・管理計画一覧表

ニッタ精部門 日

製造○課

承認	作成

ステップ1 実施担当者	ステップ2		ステップ3				ステップ4			ステップ5			ステップ6			ステップ7			ステップ8			対策結果
	場所 (製造または取 扱)	工程 (実施する単位)	対象物質	取扱量	揮発性(沸点)、 刺激性	取扱量 (大、中、小)	作業頻度	対象労働 者数	リスク ハザード の格付け	リスクア セスメント 結果	リスク 格付け	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	担当者 対策案	
	奈良工場○○室	○○工程	①有機溶剤A ②有機溶剤B	①300CC/日 ②300CC/日	80°C	小	約4時間/日	3	4	3	III											ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
	奈良工場○○室	○○工程	①有機溶剤A ②有機溶剤B	①1000CC/日 ②500CC/日	156.3°C	小	約1時間/日	3	4	3	III											ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
																						ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
																						ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
																						ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
																						ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント:
																						ハザード格付け: ばく露水準: リスク格付け: コメント: